

わが病院の広報誌



医療法人敬仁会 函館おしま病院（北海道函館市）
広報誌「かがやき」制作担当 企画部長 藤田佳久

私たちの病院はホスピス病棟を持ち、終末期医療に取り組んでいることから、「最後までその人らしく輝くのちを支えていく」という意味を込めて、広報誌を「かがやき」と命名した。平成14年創刊後、年2回の発行を続け、今年6月に記念の10号を発行したばかりの、まだ“よちよち歩き”の広報誌である。

「癒し癒される心からの医療」という当院の理念を基に、「いかにこころを伝えるか」というテーマをコンセプトとして制作している。特に病院でのイベント記事には、イベントを行った事実より、その時に生まれた

感動やそれを伝えたい気持ちを写真や短文にして掲載している。多くの方に、どこまで心の動きを伝えられる内容にすることができるのか、いつも悩みながらの作業となるが、大変やり甲斐がある。

患者さまやご家族の一つひとつの表情や仕草、そして言葉には、言い尽くせない思いや感動がたくさん込められている。かけがえのない貴重な時間における感動のワンシーンを、少しでも多くの皆様へ伝えられ、“癒し”を感じていただきたいと願っている。

制作にあたっては、2つのこだわりがある。一

つは、表紙や中に掲載する写真にはできるだけ自分で撮影したものを使うことにしている。もう一つは、印刷以外の作業を業者に依頼せず、市販ソフトを使って自前で作成していることである。どちらも、微細なこころの表現をリアルに伝えたい

ので、中間者を置かないようにしている。結果として、マンネリ化している部分やアマチュアライクな処理も多く、「プアな業者に頼んでいるなあ……」と思われるのだが、それが当院の広報誌の味でもあると思って取り組んでいる。



個人情報保護法が施行されてから、どんなによい写真や感動的な記事を書き上げたとしても、患者さまやご家族の同意が得られなければ、写真や実名の掲載はできない。つくる側と載せられる側との信頼関係がなければ、よい広報誌をつくれないことも実感している。

最後に広報誌は、当院ホームページでも閲覧できるようにしているので、是非ご覧いただければと思う。今後も、多くの方から待ち望まれる「かがやき」の発行に努力を重ねていきたい。

●ホームページURL：<http://www.oshima-hp.or.jp>